

大会開催に当たっての注意事項

1 大会中の具体的な感染防止対策

(1) 基本的な感染症対策

- ア 会場において、手洗いや咳エチケット（マスク着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。
- イ 会場出入口（駐車場側）には消毒薬を設置し、トイレに石鹸等を準備するなど、適宜手洗いや消毒ができる場を確保する。
- ウ 主に参加者の手が触れる場所を定期的に消毒する。
- エ 密集場所を避けるため、人が集まる観覧席等では1～2メートル程度あけさせる。
- オ 密接場面を避けるため、握手やハイタッチ、近距離での会話や発声はしないようさせるとともに応援は、拍手のみで行うように指導する。
- カ 引率者（チーム責任者）は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手がいた場合は、(2)当日、選手に発熱等の風邪症状がみられる場合の対応に従う。
- キ 競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用させる。
- ク 競技に参加する選手、指導者、応援者、競技役員等、会場内に入る際は、書面にて必要事項を提示する。（※別紙）
- ケ 大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保しておく。
- コ 大会に参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する。

(2) 当日、選手に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

- ア 発熱等の症状がみられる場合は、大会出場を認めない。
- イ 当日、急に症状が出た場合は、保護者に連絡し、帰宅させる。その際、大会本部にも症状を報告すること。
- ウ 体調不良の選手の健康状況については、引率者から大会本部に報告すること。
- エ 引率者は、他の選手等の健康観察を徹底する。

2 大会中の具体的な熱中症防止対策

- ア 1日1チーム60分以内の試合とする。
- イ 最大でも10分ハーフ内とする。
- ウ 当日の天候等を考慮し、前半・後半にそれぞれウォーターブレイクを入れる。